

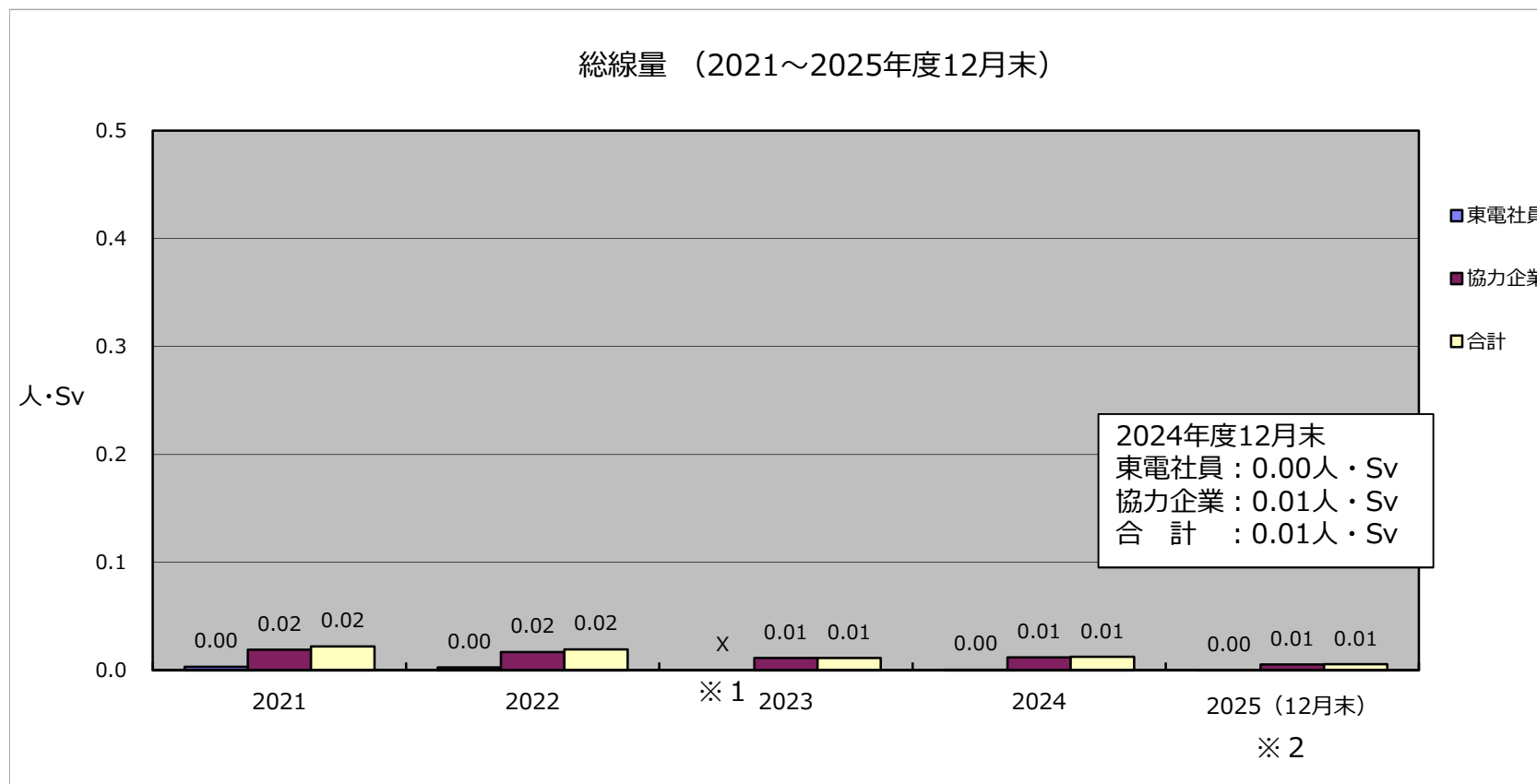
福島第二原子力発電所
放射線業務従事者数および線量状況について

2026年 2月 5日

東京電力ホールディングス株式会社

①年度別外部被ばく総線量

- 前年度同時期と比較して同程度である。

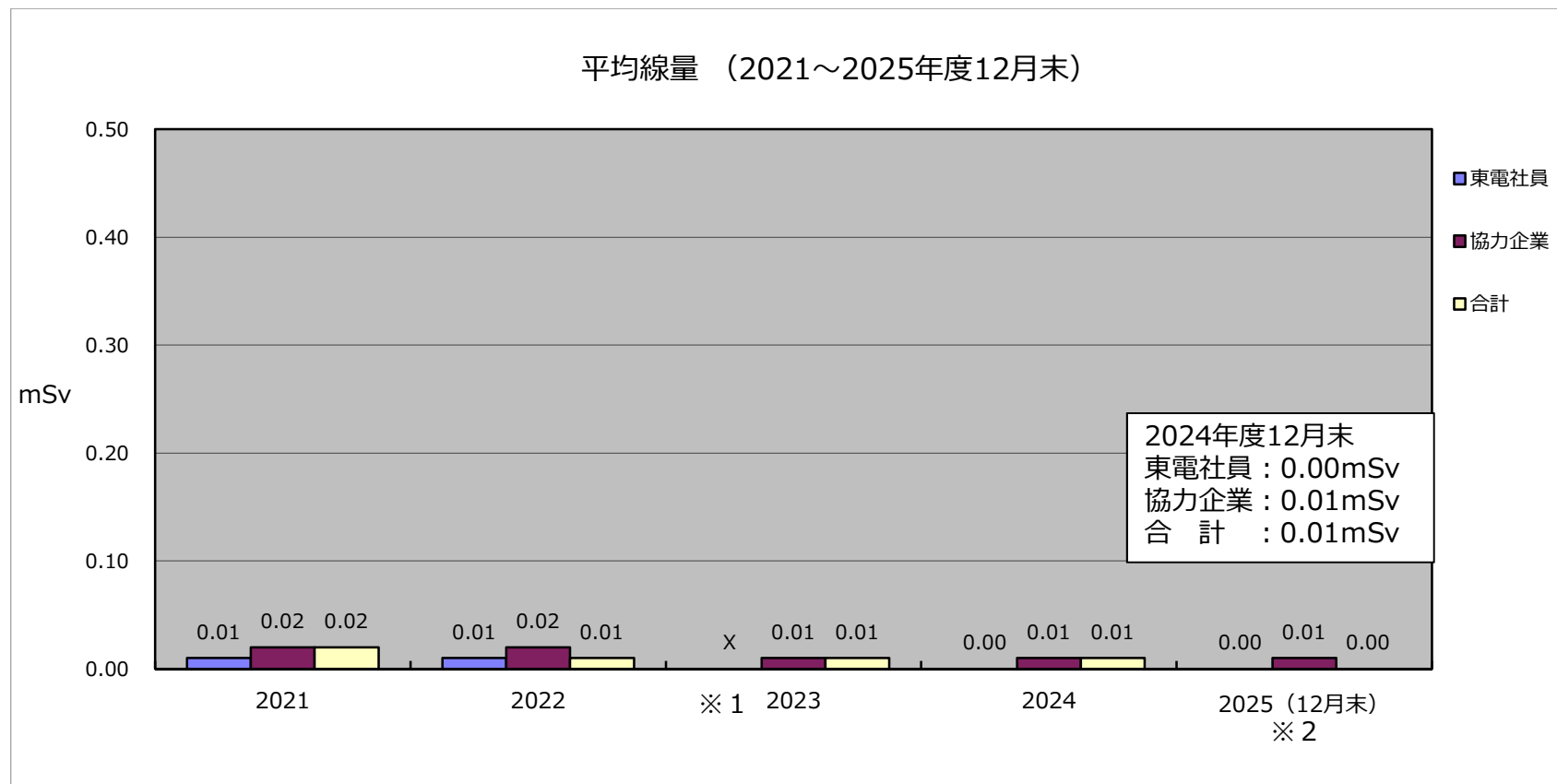


※1 X:検出限界(0.1mSv)未満

※2 2025年12月末の総線量実績は暫定値の為、受動形個人線量計による測定値の置き換えにより変動することがある。

②年度別外部被ばく平均線量

- 前年度と比較して同程度である。

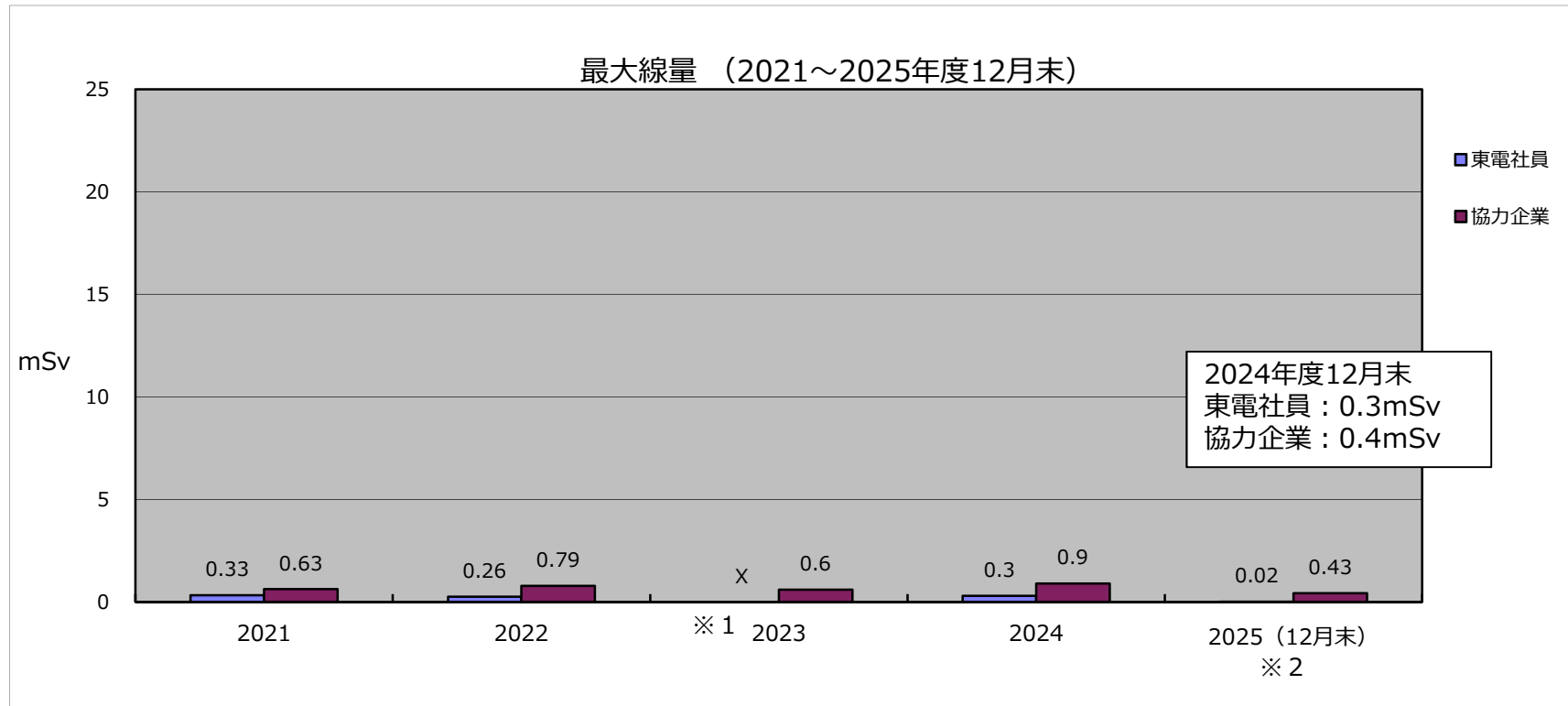


※1 X:検出限界(0.1mSv)未満

※2 2025年12月末の平均線量実績は暫定値の為、受動形個人線量計による測定値の置き換えにより変動することがある。

③年度別外部被ばく最大線量

- 社員の外部被ばく最大線量は、「設備調査」によるもので、協力企業の外部被ばく最大線量は、「固体廃棄物貯蔵庫 廃棄物・保管品管理業務」の作業によるものとなっている。

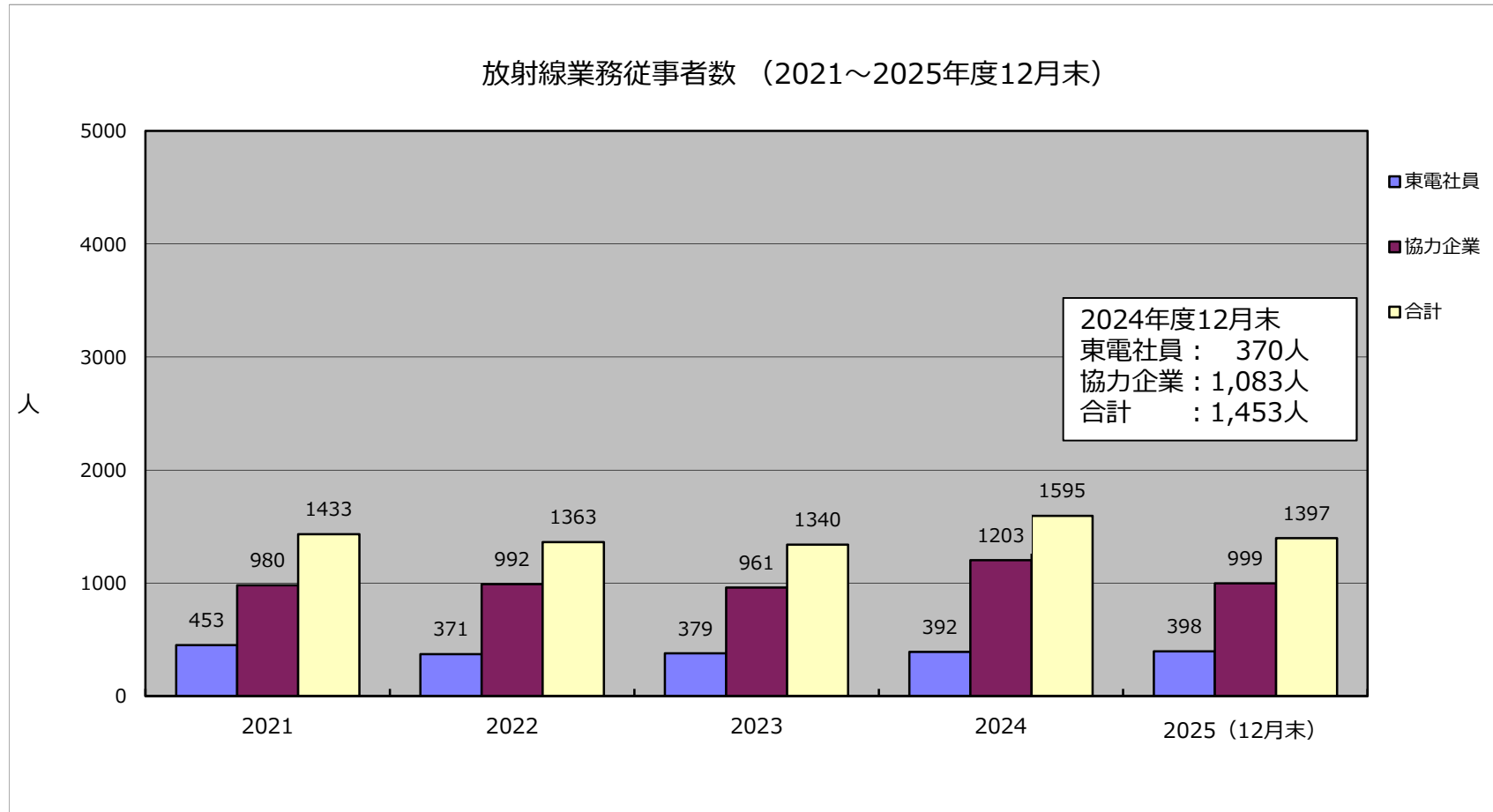


※1 X:検出限界(0.1mSv)未満

※2 2025年12月末の最大線量実績は暫定値の為、受動形個人線量計による測定値の置き換えにより変動することがある。

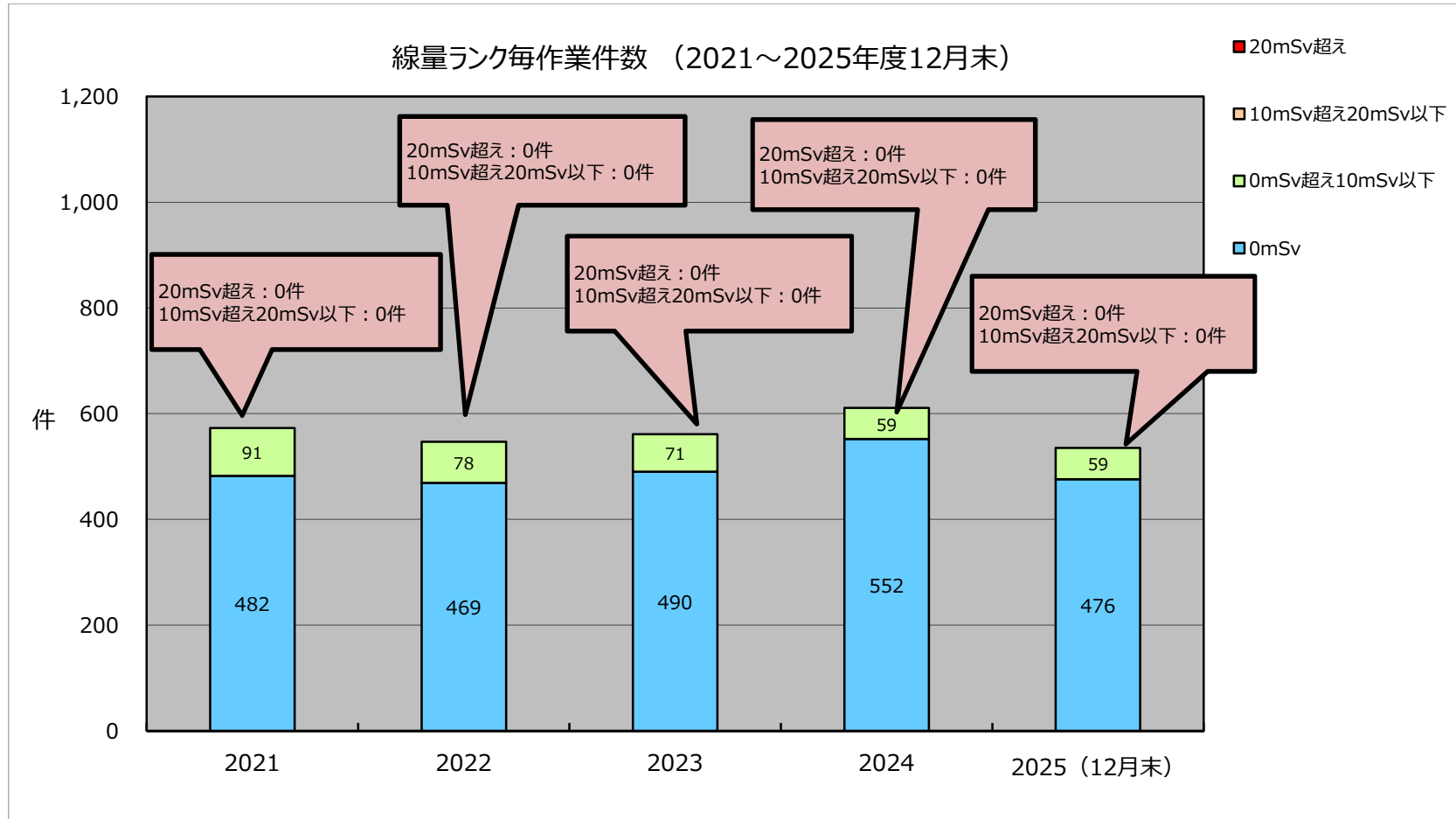
④年度別放射線業務従事者数

- 前年度の同時期と比較して同程度である。



⑤年度別線量ランク毎作業件数

- 2021年度から2025年度12月末において10mSvを超える作業は、0件となっている。



⑥ 2021年4月1日を始期とする5年間の実効線量

2021.4月～2025.12月末の累積		
個人最大実効線量 (mSv)	東電社員	協力企業
		0.59

⑦前年度との比較

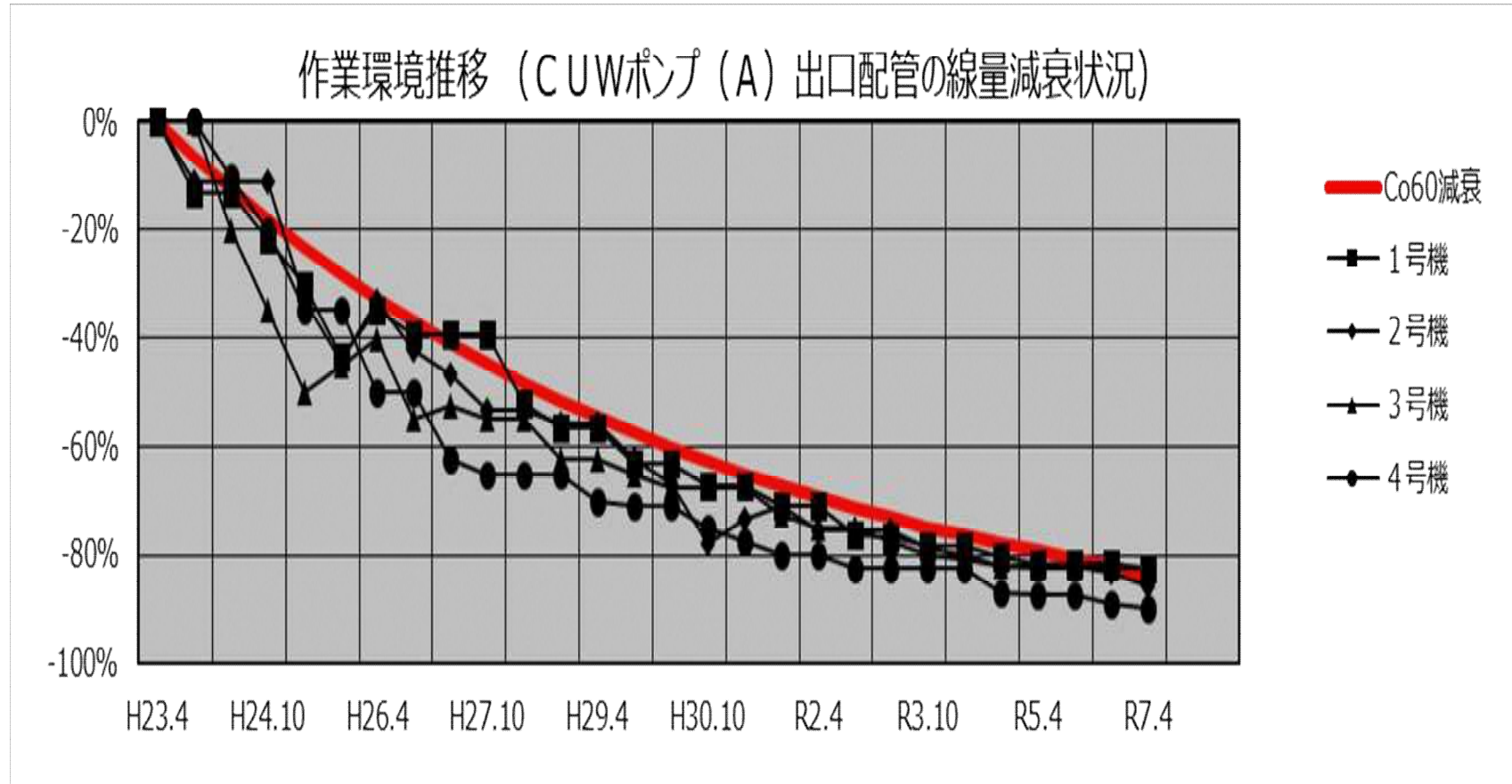
- 外部被ばく総線量、平均線量とも昨年度の同時期と比較して同程度となっている。個人最大線量は、東電社員は「設備調査」によるもので協力企業は「固体廃棄物貯蔵庫 廃棄物・保管品管理業務」の作業によるものとなっている。

比較項目		2024年度12月末	2025年度12月末	比較 (2025-2024)
総線量		0.01人・Sv	0.01人・Sv ※2	▲ 0.00人・Sv
平均線量		0.01mSv	0.00mSv ※2	▲ 0.01mSv
最大線量	東電社員	0.3mSv	0.02mSv ※2	- mSv ※1
	協力企業	0.4mSv	0.43mSv ※2	- mSv ※1
放射線業務従事者数		1453人	1397人	▲ 56人
総線量が10人・mSvを超える作業件名数		0件	0件	0件

- ※1 2024年度12月末は受動形個人線量計による評価、2025年12月末は電子式個人線量計による評価（暫定値）の為比較は「-」とした。
- ※2 2025年12月末の総線量、平均線量ならびに最大線量実績は暫定値の為、受動形個人線量計による測定値の置き換えにより変動することがある。

参考資料

CUW:原子炉冷却材浄化系



作業環境に与える指標として採取している代表的なデータを示したもの(D/W内を除く)